

日本文藝研究

第六十三巻 第二号

『百物語評判』と朱子学 …………… 寺 敬 子 …… 1

—— 儒者の啓蒙から娯楽小説へ ——

浅井了意の常套句について …………… 高 橋 隆 平 …… 21

関西学院大学日本文学会

前 号 目 次

樋口次郎兼光の「名乗り」……………武久 堅…1

——義仲伝承の掉尾を飾る——

秋成の宗因観についての一考察……………村田 俊 人…17

——『俳調義論』の再検討を通じて——

青年詩人・山田初男とその作品……………山 本 歩…37

白百合女子大学図書館蔵 荒木田麗女

『麗女独吟千句』の翻刻……………雲 岡 梓…55

編集後記

論考二篇、第六十三巻第二号をお届けする。▼「すべて新なる説を出すは、いと大事なり、幾たびも返さひ思ひて、良く確かなる拠り所を捉へ、いづくまでも行き通りにて、違ふ所なく、動くまじきにあらざるは、た易くは出ずまじき技なり」(『玉勝間』)▼さすが本居宣長だが、それに続けて「ほど経て後に、今一たびよく思へば、なほわろかりけりと、我ながらだに思ひならるる事の多きぞかし」とも述べている▼学説はこうして進歩し、深化して行く▼力作をたくさんお寄せいただきたい。

(小倉)

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公開のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせること。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇一二年三月五日 印刷
二〇一二年三月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第六十三巻第二号

〒六六二八五〇一

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八)五四一六二八(直通)

編集兼 発行者 細川正義

発行所 日本文学会

〒六一五〇〇五五 京都市右京区西院清水町一三

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五)三二一四〇一〇
FAX (〇七五)三二一四〇一一

注文規定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願いたします。振替を御利用ください。(振替〇二五〇一七六〇五八五一年分(送料共)三、〇〇〇円)